

## 刈谷市の現状を学び、10年後の暮らしの期待や不安について話し合いました

### ～ 第1回 市民まちづくり会議 開催レポート ～

令和元年6月22日(土)午後1時30分から午後4時30分、刈谷市社会教育センター(市民交流センター内)4階401研修室で「市民まちづくり会議」を開催しました。この会議は、今後10年間のまちづくりの方針を定める総合計画づくりの一環で開催するものです。市民の皆さんと一緒に、「これから10年間の刈谷の暮らし」について生活者の視点で自由に話し合い、今後の主な課題や求められる具体的なまちづくりの取組について考えることを目的として、6～9月まで計5回開催する予定です。以下、第1回の会議の様子をご紹介します。

### ■20歳代から70歳代まで様々な世代の市民が参加し、自己紹介からスタート

参加者は、市民22名と刈谷市の職員8名の計30名。公募で申し込まれた方や、2月に実施した「かりや未来ワークショップ」の参加者、愛知教育大学の学生など、20歳代から70歳代まで幅広い世代の方に集まっていたいただきました。

年齢や性別などのバランスを踏まえて4つのグループに分かれて着席して頂き、はじめにアイスブレイクを兼ねて一人ずつ自己紹介を行いました。こだわりの趣味などのマイブームについて紹介したり今の気持ちを伝えあうことで、参加者同士の緊張がほぐれ和やかな雰囲気となりました。



### ■専門家の先生から「総合計画とこれからのまちづくり」について学びました

全5回の会議のスタートとなる今回は、今後よりよい議論をするために必要な知識や情報を皆さんと一緒に学び、共有することから始めました。

四日市大学副学長の小林慶太郎先生を講師にお招きして、「総合計画とこれからのまちづくり」についてミニレクチャーを実施。小林先生からは、総合計画の役割や位置づけ、市民と行政の協働によるまちづくりの重要性、今後の刈谷市をとりまく環境の変化、さらに本会議における話し合いの心得などについて、わかりやすくお話いただきました。

レクチャーの後の意見交換では、総合計画の概要や市民と行政の役割分担などについて質疑応答を行うとともに、未来志向で考えることや多様な意見を尊重することの重要性を理解できたとの意見が聞かれました。

### ■刈谷市の現状と未来について様々なデータをもとに共有

刈谷市の現状や特性、市民等のまちづくり意識、これからのまちづくりの課題や方向性などについて、参加者に事前に送付した「刈谷市総合計画基礎調査一かりやまちづくり白書」の概要を事務局から説明しました。

さらに、民間の研究チームが公表する2040年の刈谷市の状況を予想したデータの「未来カルテ」を紹介し、産業や福祉・介護、財政の今後の見通しについても情報共有しました。



### ■10年後の刈谷市の暮らしの「期待(長所)」と「不安(短所)」を議論

小林先生のレクチャーを聞き、刈谷市の現状について学んだあとは、各グループで「10年後の暮らしの期待と不安」について、それぞれの立場から関心のあるテーマについてざっくばらんに議論しました。

前半は、事前アンケート用紙に記入してきた意見をもとに、いまの暮らしに関わるぼんやりとした不安や悩みなどの意見が多く出されました。意見交換が進むにつれて将来的な視点からの意見も多くなり、子育てや教育、産業、防災・防犯、交通、財政など幅広い分野について、10年後の刈谷市の暮らしのあり方について活発に意見交換がされました。



### ■各グループの成果を発表し、小林先生からアドバイス

最後に、各グループの話し合いの内容を発表しました。全般的には期待(青色)よりも不安(赤色)が多く出されており、高齢化にともなう福祉や介護の問題、子育てしやすい環境づくり、防災や防犯、財政への懸念や問題を指摘する意見が多く聞かれました。

一方で、時代の変化に対応した新たな教育のあり方や、スタートアップ支援などによる新産業の創出、駅周辺の賑わいづくり、元気な高齢者の生きがい創出など、刈谷の強みを活かした次の10年のまちづくりへの期待なども聞くことができました。

発表後、小林先生からまとめのコメントを頂き、第2回以降の会議でも客観的なデータを踏まえて議論するとともに、未来の変化を見据えながら活用可能な資源を洗い出して、暮らしやすいまちづくりに向けた議論を進めることが大事であるとのアドバイスを頂きました。



### ■最後に全員で集合写真を撮影

閉会にあたり、改めて事務局より、今回の市民まちづくり会議は、昨年度の実施した未来ワークショップの意見を踏まえつつ、市民とともにつくりあげる総合計画づくりの本格的な議論の場であることをお伝えし、今後も引き続きご参加・ご協力いただくことをお願いしました。

最後に、次回開催予定を確認し、集合写真を撮って解散しました。

